

「東京ふれあいロード・プログラム」に 参加してみませんか?

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。



	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。
1 清掃活動	清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。
2 緑化活動	緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。

対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等
活動場所	都道の歩道部分(供用を開始した道路)
募集期間	随時募集しています
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めない。

活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。
支援の内容	活動費の支援(1年間 最高8万円まで)* 活動区域内外へのサイン(表示板)の設置
*審査の結果、有償団体として認定した団体に限ります。	

認定方法	団体等から、活動を希望する区間(都道)を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。
------	---

●平成21年4月末現在、94団体が活動しています。情報を公開している活動団体の一覧は、[「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/04_2.html」](http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/04_2.html)から確認できます。

●公社では、東京ふれあいロード・プログラム活動団体を対象に、「清掃用具やジャンパー等の物品支援」を行います。

物品支援について、詳しくは
[「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/06.html」](http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/06.html)から。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ



■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部
路政課 管理係【電話:03-5320-5281(直通)】まで。

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マグの東京ふれあいロード・プログラムに登場してくださる団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募をお待ちしています!

■柴又中央会の活動スケジュール

清掃活動日／原則として毎月1日 ※雨天の場合は、翌日に順延することもあり
花植え活動／ビオラと日日草の花植えを年2回。芝桜の補植年1回



福寿会の小日向会長



長寿会の岡田会長



柴又中央会
副会長 植栽委員長
徳増欣樹さん



柴又中央会副会長
加藤栄一さん

自分たちの街・柴又をきれいにしたい!
地元の老人会・福寿会・長寿会と連携して、
柴又の花植え運動が徐々に広がっています。

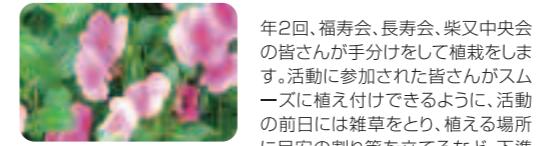
みんなで育てる
東京の道

東京ふれあいロード・プログラム

参加団体訪問-16 柴又中央会(葛飾区)

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうおと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成21年4月末現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してくださっている団体は94団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。

このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、葛飾区で活動されている「柴又中央会」を訪問いたしました。



日日草の植栽に集まつた、福寿会・長寿会・柴又中央会の皆さん。



私たちのお出迎えの気持ち。
柴又を訪れてくださる皆さんに、
街を楽しんでいただきたいです。

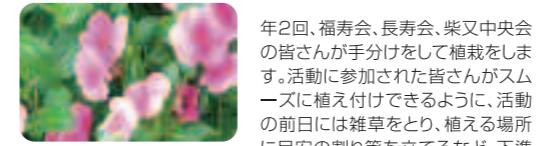
活動範囲は柴又街道(都道307)の両側、延べ1200メートルにわたります。

芝桜で柴又街道を埋め尽くそう! そんな発想が私たちの活動の原点です。



柴又中央会
会長 濑尾滋さん

私たちの柴又中央会は、柴又街道(都道307)に面している商店会の名称でもあります。物販店が少なく、ほとんどがサービス業で、お医者さんや不動産屋さん、工場まで含まれているというちょっと変わった構成です。ですから商店会をあげての大売り出し企画もなく、地元に商店会をアピールできる機会もほとんどありませんでした。どうやったら地元のお客様に商店会を認めもらえるだろう、と試行錯誤していた時に、徳増副会長から「柴又街道を芝桜で埋め尽くしてみてはどうだろう?」という提案がありました。柴又は寅さんの街なので、妹のさくらさんのイメージにかけて“芝桜”という単純な発想だったのですが、それがこの活動の発端となりました。今から5年前の平成16年のことでした。まずは、東京都の第五建設事務所へ「柴又街道の両側の植栽枠に芝桜を植えたい」という相談に行きました。当時の植栽枠はあまり手入れが行き届いておらず、荒れているところもありました。土壌改良をしていただき、両側600メートルずつの見事な芝桜の花壇を完成させました。この活動を一時的ではなく、継続していきたいという商店会の思いがあり、平成17年に東京ふれあいロード・プログラムに認定していただきました。3年前からは、地元老人会の福寿会さんと長寿会さんに参加していただき、地元の皆さんにも私たちの活動を少しずつですが認知していただけるようになりました。柴又は年間約200万人の人たちが訪れてくださる観光地です。これからも街をきれいにすることで、柴又を訪れてくださる皆さんに、街がお客様を迎える心意気を伝えたいと思っています。



日日草の植栽に集まつた、福寿会・長寿会・柴又中央会の皆さん。



花は競うものでなく愛るもの。
みんなの力できれいに花が咲くことが、
喜びになり励みになっています。



秋の花壇コンクールでは
参加349団体の中から
「努力賞」を受賞



町田市が開催した
花壇コンクールで、
2008年度秋 勉強賞
2009年度春 優良賞



1969年に設立された町田市旭町二丁目町内会は、40周年という節目の年を迎えました。3月には「40周年記念写真集」が作られ、会員の励みとなり活動にますます力が入っています」と大谷元治さん。

佐野さんを返してくれますので、とてもやり甲斐があります。これからは、子どもたちを巻き込んで、私たちの活動を次の世代にも繋げていきたい」と語る佐野龍之介さん。

木藤さん「自然体で無理なく参加できる人が参加すれば、花壇コンクールのパネル展示でもしっかりと役として活躍されているようになります。これは、会員の励みとなり活動にますます力が入っています」と大谷元治さん。

大谷さん「花は手をかけなければ手をかけただけのもので、私たちの活動を次の世代にも繋げていけます」と語る木藤一郎会長。

「自然体で無理なく参加できる人が参加すれば、花壇コンクールのパネル展示でもしっかりと役として活躍されているようになります。これは、会員の励みとなり活動にますます力が入っています」と大谷元治さん。

TR-mag.
focus Again!

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介します。今回は、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介します。今日は、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介します。今日は、東京ふれあいロード・